整理No.	37

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	211-01	基本施策	総合的・計画的な環境対策の推進	所管部局	環境部
施　策　名	市民・事業者・行政の協働による取組の推進			主担当課	環境政策課
				関係部局課	生活環境課
施策の目標	市民・事業者・行政の協働体制を強化するとともに、市民・事業者の自主的な活動や取組への積極的な支援を通じて、協働による環境対策の充実を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など
・「21世紀は環境の世紀」といわれ、環境問題が重視される中において、CO2などの温室効果ガスの排出抑制は進んでおらず、地球温暖化に起因する環境問題などは、むしろ深刻化している。これらの環境問題は、市民の関心も高く、その取り組みを求める声は高い。 ・環境負荷を低減し、持続可能な社会の構築する取り組みは、市民・事業者・行政のパートナーシップによる取り組みが重要となっている。このことから、市は、環境問題に率先して取り組むとともに、市民・事業者の支援、協働による取り組む体制の充実を図る。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値(H22)	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値(H28)
ながの環境パートナーシップ会議の環境保全に関する年間取組件数	件	238	209	167				266
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
ながの環境パートナーシップ会議が取り組む環境保全(プロジェクト)活動の年間取組件数	環境保全(プロジェクト)活動数の増加を目指すことで、H28には、年間266件の取組件数を見込む。19プロジェクト×14件(各プロジェクトのH18～H22の年間平均取組件数)＝266件							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値(H22)	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値(H28)
ながのエコ・サークル認定事業所数	件	234	244	256				264
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
ながのエコ・サークル認定事業所の累積認定件数	5件／年の認定増加を見込むもの 244件（平成24年度）＋5件／年×4年							

25年度の取組内容実績	・ながの環境パートナーシップ会議の運営補助 環境保全に関する具体的なプロジェクトの実施／フォーラム等の開催／環境保全の啓発 ・「長野市環境マネジメントシステム」の運用 環境計画の進行管理(目標値の設定)／環境監査の実施／エネルギー使用量の削減 ・ごみ減量、リサイクルの推進により環境保全に取り組む事業所を「ながのエコ・サークル認定事業者」に認定 認定証、ステッカーの交付／広報や出前講座を通じ認定事業者の拡大を図る。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	概ね順調

	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	将来にわたって豊かな自然を引き継ぐために、市民をはじめ事業者や行政が協働で環境保全に取組でいくことが必要である。ながの環境パトナーシップ会議は、この三者で構成し、環境保全に関するプロジェクトが取り組んでいる。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	ながの環境パートナーシップ会議が取り組む環境保全(プロジェクト)活動の年間取組件数は、一部のプロジェクトの活動の低下に伴い減少したが、市民・事業者・行政のお互いの長所を生かしながら協働で取り組むことで、生ゴミ堆肥化やレジ袋使用削減などは、行政単独で実施するより成果が得られている。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	環境保全活動に取り組む10のプロジェクトのうち、３つプロジェクトの活動が低迷していることから環境保全に関する取組件数は、減少しているが、プロジェクト当たりの活動への参画者数は、増加している。 ながのエコ・サークル認定事業所数は、平成28年度目標262件に向け順調に増加している。また、認定した全事業所を対象に現状調査を行った。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	ながの環境パートナーシップ会議は、市民・事業者・行政による協働による活動であるが、事業者の参画が少ない。	事業者や団体の参画が少ない事から、各プロジェクトと事業者などとの環境活動の協働取組の現状を把握し、理事会やプロジェクトチームで、協働して環境活動を進めるために、事業者が参画しやすい方法を検討していく。
2	・エコ・サークル認定後の年月の経過に伴い認定事業所の意識の低下 ・エコ・サークル認定事業所の取組内容の格差 ・エコ・サークル認定事業所の継続調査が遅れ気味である。	認定事業所のごみ減量などの取組が継続され、一定の水準を維持するため、年間60件程度の認定事業所の事後調査として、現地確認によりり実施するとともに、商工団体に協力を要請していく。
施策展開の方向性（H26年度以降）	・ながの環境パートナーシップ会議のプロジェクト活動を広く知ってもらうため、多くの市民・事業者や団体などが参加できるイベントや学習会を開催する。プロジェクトチームと事業者や団体との協働の現状を把握し、今後望む事業者などが参画しやすい環境を整え、参画を呼びかける。 ・ながエコ・サークル認定事業所の環境保全への取組が継続され、一定の水準を維持するために、年間60件程度の認定事業所の事後調査を現地確認により実施するとともに、商工団体に協力を要請していく。	

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名 ［事業区分］ 担当課名	事務事業の概要	事業の取組実績・成果
1	ながの環境パートナーシップ会議負担金 ［補助金・金銭給付事業］ 環境政策課	ながの環境パートナーシップ会議に負担金を交付し、市民・事業者・行政による環境保全に寄与する活動（プロジェクト）を実施する。	各プロジェクト活動（レジ袋の削減・生ごみの堆肥化・市民の森づくりなど）を実施し、その一部は行政の施策に提言や事業を担っている。
2	環境マネジメントシステム推進 ［公共施設管理運営事業］ 環境政策課	市が行う事務事業等の業務活動の環境負荷の低減を図り、環境に配慮した事務事業の実施を推進するため、「環境マネジメントシステム」を運用し継続的改善を図る。	・第二次環境基本計画の指標の目標値29項目のうち「ごみの年間排出量」など24項目が目標値を達成した。省エネ行動等により市有施設等エネルギー使用量を前年度以下に抑制できた。
3	ながのエコ・サークル事業 ［内部管理的事業・その他］ 生活環境課	ごみ減量、リサイクルなどに配慮した事業活動に積極的に取り組んでいる事業所を、長野市が認定する。広報、新聞、出前講座等を通じて普及促進を図る。	ごみ減量、リサイクルなどに配慮した事業活動に積極的に取り組んでいる事業所を、長野市が認定する。広報、新聞、出前講座等を通じて普及促進を図る。
4			

番号	事務事業の分析結果：達成（進捗）状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	年度別事業費（千円）（H26は予算額）H23	H24	H25	H26
1	C	A	B	B	B	継続	6,961	6,889	6,504	5,715
2	C	A	A	A	A	継続	7,246	7,479	7,329	5,404
3	A	A	A	B	B	継続	3,913	3,934	3,957	4,008
4										

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26